

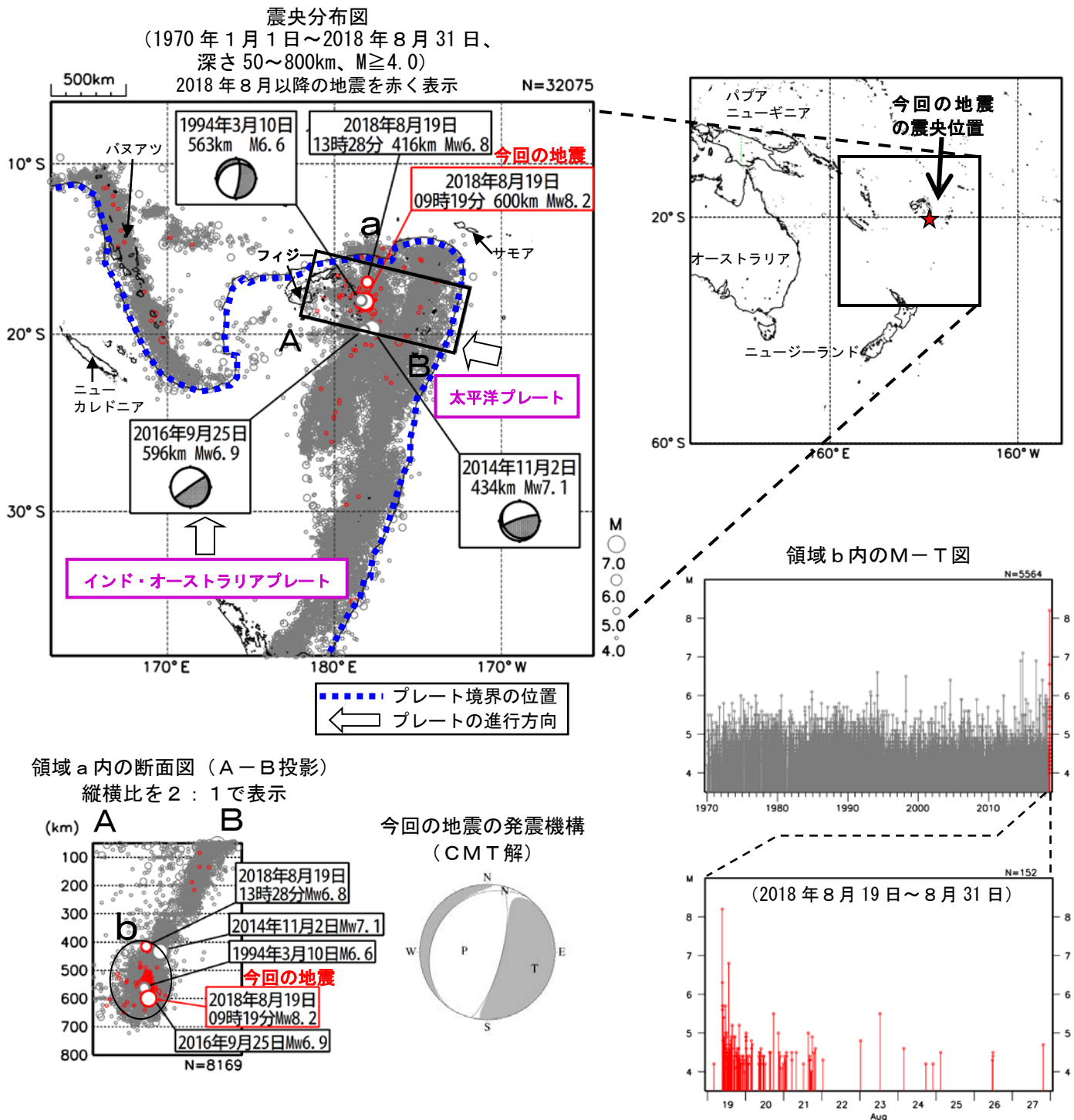
8月19日 フィジー諸島の地震

2018年8月19日09時19分(日本時間、以下同じ)にフィジー諸島の深さ600kmでMw8.2の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

気象庁は、この地震に対して、同日09時45分に遠地震に関する情報(津波の心配なし)、同日10時07分に同情報(震源要素の訂正、津波の心配なし)を発表した。

今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震の発生以降、地震活動が活発になり、同日13時28分にもMw6.8の地震が発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は度々発生しているものの、M8.0を超える地震は今回が初めてである。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.